

農林水産政策学 第8講 農業における市場の失敗への対策

2016年6月8日

有賀健高

効率化政策

- 「ある政策の結果、得をする人が損をする人を保証してもなお釣りがくるような政策」(教科書p.3)をいう。
 - － 経済学的に効率的な状況: 「経済にいる他の誰かの生活水準を引き下げることなく、ある人の生活水準を引き上げることができない状況
 - － 効率でない場合、何らかの形で資源に関する再配分をすることである人の生活水準を引き上げることが可能なので、そのように非効率な状況を改善するための政策が効率化政策である。

現在の日本の農業における課題

- 高齢化
 - 65歳未満の男子がいる専業農家は全農家の一割。
- 兼業農家に対する過度な保護政策
- 兼業農家は米の生産に集中しすぎている。
 - 収益率で見ると米より野菜や畜産の方が優れているにも関わらず米作中心となっている。
- 国際的に見て低い一戸当たりの農地面積

農業における非効率性の原因

- 市場の失敗1: 独占

- 農協が「農産物の消費者への販売や農業生産に必要な投入物の購買等に独占的な地位」を得ており、「経済事業の分野でも新規参入を抑制」している。

- 農協による過度な小規模農家保護政策のために、より生産性の高い農家の参入余地が奪われており、自由競争における市場価格になっていない。



効率的な資源配分がなされていない。

農業における非効率性の原因

- 市場の失敗2: 外部性
 - 農地の周りに住宅や工場等が虫食いの的にできる
→ 大気汚染、土壌悪化、日照時間の減少。
 - 耕作放棄地の増加 → 虫の発生、雑木林による日照時間の減少、農地としての再生困難。

農業における非効率性の原因

- 市場の失敗3: 公共財
 - 灌漑や農道などのインフラは公共財的要素あり、水田は水資源の涵養に役立つという公共財的側面あり。
- 市場の失敗4: 情報の非対称性
 - 農産物をめぐる生産者と消費者の間の情報の非対称性



政府が農産物に関する情報を正しく伝達する仕組みを構築する必要がある。

政府の失敗

- 市場の失敗がなくても、政府が市場に干渉しているために市場に歪みが発生している場合 → 人工的に作り出された歪み

政府の失敗が起こる主な原因

- ① 政府の持つ情報が限定的なため適切な経済主体に対して適切な政策を行えない。
- ② 政府の民間市場への影響力はあくまで限定的であること。政府が支出できる金額にも限度がある。
- ③ 法律を作成する議会と実際に法律に基づいて政策を施行する官僚組織の間で意思の疎通が上手くいかないため。
- ④ 法律を定める議員が票取りのために特定の利益集団の便益確保のために働いてしまうため。

政府の失敗の例

- 高関税政策による過度の輸入制限
- 高関税によって国内供給が過剰となり、生産調整が必要となる。
- 農地法による農業への参入規制
- 農協事業への参入規制

第4章のまとめ

- 顕在化している市場の失敗1: 独占
 - 農地幹旋事業における独占 → 農業への自由な参入の妨げ
 - 解決策: 小規模兼業農家のみが有利になるような保護政策を撤廃し、面的集約を促進させる政策。
- 顕在化している市場の失敗2: 外部性
 - 住宅や工場、耕作放棄地が農地に及ぼす外部性の問題
 - 解決策: 農地の転用に関する罰則と監視の強化

面的集約の促進に向けた政策

- 自由な賃貸借交渉ができる環境の構築
 - 農地幹旋事業実施主体に民間企業を参入させる。
- 集約が進むような農地開発制度の施行
 - 集約が進むような再開発を行うための移住に補助金を与える。
- 認定農業者制度
 - 地域農業の枠を超えた広域的な農業経営やグローバルな農業経営を目指す者も認定できるようにする。

外部性の問題を解決するための政策

- 農地の土地利用に関する規制は主に農業委員会が行ってきたが、その規制のあり方は恣意的である → 農地の所有や利用に関する入札制度の導入
- 農業委員会は十分に農地の違反転用を取り締まられていない → 第三者機関が必要
- 耕作放棄地が減らないのは遊休農地への是正指導が農業委員会で十分行われていないためである → 別の監視機関が必要